

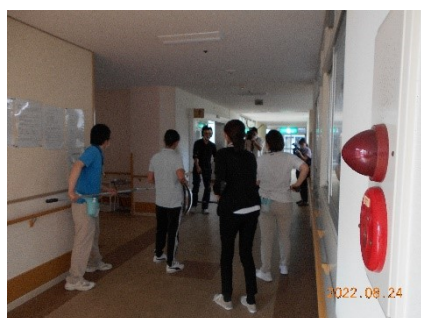
2022年8月24日（水） 不審者対応訓練を行いました。

地元あわら警察署生活安全課のご協力を得て、不審者侵入時の対応訓練を実施しました。



本番を想定した訓練の為、事前情報は限定的で、職員それぞれの機転で判断し対応が求められます。

施設内に侵入しようとした不審者に気づいた職員が、刺激を与えないよう冷静に対応。別の職員が110番通報と同時に、「不審者侵入」を別の言葉に置き換えて館内に周知しご利用者の安全を確保します。



数名の職員が身の回りにある道具と、さすまたを用い、不審者の暴動を抑えます。

応戦の間に警察官が到着し取り押さえることが出来ました。



不審者侵入時の対応マニュアルに沿った行動が出来るかどうか、を検証する機会であった

こと、日頃の危機管理の重要性を再認識しました。

ささまたの使い方を評価いただき、改めて有効な使い方を教えていただきました。



数名の女性職員が「レディースガード研修」を受講し、護身術をはじめ防犯対策の重要性を学びました。

あわら市の障害者支援施設「金津サンホーム」で24日、不審者対応訓練が行われた。職員が連携して刺股で動きを食い止め、利用者を迅速に避難させるなど非常時の対処を確認した。

刺股で不審者止めろ！

あわら 障害者支援施設で訓練



不審者役を取り押さえる施設職員＝24日、あわら市の金津サンホーム

あわら市の障害者支援施設「金津サンホーム」で24日、不審者対応訓練が行われた。職員が連携して刺股で動きを食い止め、利用者を迅速に避難させるなど非常時の対処を確認した。

2016年に起きた相模原市の障害者施設殺傷事件を受けて不審者対応マニュアルを作成し以降、訓練を続けている。

刃物を持ったあわら署員ふんする不審な男が、利用

田原薫理事長は「実際の場面に遭遇すれば、ひるんでしまうかもしれない。繰り返し訓練することで不審者への対応スキル、防犯意識を高めていきたい」と話した。（山口晶水）

者が多く集まる食堂近くの非常口から侵入したとの想定。駆けつけた職員は「何しにきたの」「名前は」と声掛けし、突破を試みた不審者を刺股やいすを使って壁に追い込み、5、6人がかりで取り押さえた。並行して警察に通報し、手分けして約45人の利用者を各部屋などに避難させた。

録を

2022年8月25日（木）福井新聞掲載